

## 会 議 録

会議の名称	第2回さど未来創造・戦略推進会議
開催日時	令和4年1月5日（水）13:30～15:30
場所	佐渡市役所本庁3階会議室
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 自己紹介</li> <li>3. 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について</li> <li>4. 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン見直し（案）について</li> <li>5. その他</li> </ol>
会議の公開・非公開 <small>（非公開とした場合は、その理由）</small>	公開
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識有識者ほか 14名</li> <li>・ （事務局）企画課 課長 猪股 雄司 主任 松本亜沙美</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期総合戦略主な取組内容一覧（資料No.1）</li> <li>・ 第2期総合戦略（案）（資料No.2）</li> <li>・ 参加者の意見に対する対応等一覧（資料No.3）</li> <li>・ 参考資料（資料No.4）</li> <li>・ 令和2年度地方創生推進交付金事業報告（資料No.5）</li> </ul>
傍聴人の数	2人（報道1名含む）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
松本主任	<p>定刻になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>新年あけましてありがとうございます。</p> <p>このたびは、年明け早々の会議開催となり大変申し訳ありません。</p> <p>進行につきましては、さど未来創造・戦略推進会議開催要綱において座長が進行することになっておりますが、座長が選任されるまでの間、事務局で務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは、次第に従いまして、1. あいさつということで、企画課長よりあいさつを申し上げます。</p>
猪股課長	<p>新年あけましておめでとうでございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、「第2回さど未来創造・戦略推進会議」にご参加いただきありがとうございます。</p> <p>年明け早々の会議開催にも関わらず、参加くださり誠にありがとうございます。深くお礼申し上げます。</p> <p>さて、第1回推進会議の内容等を踏まえ、本日の会議は事務局からの説明はできる限り短くさせていただき、参加者の方から意見を伺う意見交換の場にしたいたいと思っております。</p> <p>第1回推進会議、また意見書等でいただきましたご意見につきましては、本日配布しております計画書及び意見一覧において対応・回答を記載してあります。そちらも参考にご覧になりながら、普段感じていることなど専門分野に関わらず、率直なご意見をお聞かせいただければと思います。</p> <p>本日、短い時間ではありますが、活発な意見交換の場となるよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
松本主任	<p>ありがとうございました。それでは、次第に従いまして進めていきたいと思えます。</p> <p>これよりの会議進行につきましては、さど未来創造・戦略推進会議開催要綱において座長を選任することとなっておりますが、第1回において座長をお願いしましたA氏に引き続きお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>それでは、A氏よろしくお願い致します。</p> <p>なお、本日の会議進行の流れを事務局より大まかに説明させていただきます。</p> <p>まず、本来第1回で行うべきだったのですが、さど未来創造・戦略推進会議参加者の皆さまの自己紹介をお願いしたいと思っております。次に、本日は総合戦略の主な取り組み内容を踏まえ、普段みなさまが感じていることなどを交え各部分野ごとのご意見をお聞かせいただければと思います。</p>

	<p>続いて、この総合戦略、人口ビジョンの主目的である人口減少対策のひとつである結婚施策をテーマに意見交換をしたいと考えております。</p> <p>本日は協議という場より、まずお互いのことを知り、意見交換する場になればと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>第1回に続き座長に選任されたAです。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第2に入ります。先ほど事務局から説明がありましたとおり、事務局も含め推進会議参加者の皆さまより自己紹介をお願いしたいと思います。では、私から自己紹介させていただき、左回りで最後、事務局の順番でお願いします。</p>
参加者	自己紹介
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では次第3、4について事務局より説明をお願いします。</p>
松本主任	<p>次第3、4はまとめて説明します。</p> <p>資料No.1、こちらにつきましては先日皆さまから頂いた意見を基に修正した一覧となります。また、資料No.2は資料No.1の内容を反映した計画書となります。どちらにつきましても、一部取組み内容、目標指標が増えてはいますが、大きな変更はありません。後ほどご確認いただければと思います。</p> <p>続いて、資料No.3は第1回推進会議、各種意見書においていただきました内容に対応した回答となっています。みなさんの意見を基に、再度各課において内容を検討し修正・反映したものが資料1、2となっており、併せて後ほどご確認をお願いします。</p> <p>続いて資料No.4です。第1回推進会議において、合計特殊出生率を2.07、社会移動を毎年100人、200人増加させ32,000人確保すると説明しましたが、先月開催しました意見交換において、合計特殊出生率は現行計画の2.08のまま、そして社会移動が現実的ではないとの意見を踏まえ見直したものとなります。社会移動の部分のみ説明します。こちらは、UIターン施策により20歳から44歳のUIターン者を2060年までに一定数転入を見込み見直したものとなります。当市においては、UIターン者実績としましては、令和2年度504名おり、うち20歳から44歳が257人となっており、2021年～2060年までに300人程度で試算しています。</p>
座長	<p>それでは、今ほどの事務局からの説明も踏まえ、みなさまが普段感じていることなどについて各部分野ごとに意見をいただきたいと思います。</p> <p>では、私のほうで指名しますので、よろしくお願いいたします。まず、産業界及び金融機関の関係者として私から意見を述べさせていただきます。</p> <p>なお、時間も30分程度となっておりますので1人2分程度にまとめていただき</p>

	<p>お願いしたいと思います。</p>
座長	<p>商工会では、市長と定期的に懇談会で情報交換を行っているほか、空き家や店舗の改修、中小企業の支援等を行っています。特に UI ターンや事業所育成などの支援をしています。また、その他、だっチャコインは市民に流通していない地域通貨のため、市民の利活用を進めたいと思っています。子育てに関しては、子育て支援、子育てしやすい環境、そのために必要な支援が必要であると感じています。</p>
B 氏	<p>自己紹介の時もお話ししましたが、行政等の仕組みは確かにありますが、現実には漁は努力して獲れるものではありません。ここ数年で量が減っており、特に去年は獲れない状況で、努力で何とかできるものではなく、自然のことで。しかし、その中でも旬のものに付加価値をつけ、いかに有効活用するかがテーマです。今、国境離島で佐渡汽船運賃を 4/5 支援してもらっています。これをいかに利用し、全国に売っていかなければならない時期にきています。非常にジレンマを感じています。</p> <p>また、漁協会に入って1年少し経ちますが、人が育たず、待遇も悪いため、辞めてしまう悪循環があります。この、悪循環を断ち切るためには、各漁協がバラバラにやっていて良い効果を生んでいないため、7 漁協を1つにして良い人材を集めて、リーダーに全体を見てもらい、良いものを付加価値化していくことが、漁協会にプラスになるのではないかと考えています。</p>
C 氏	<p>私の周りでも、個人事業主として頑張っている女性はたくさんいます。もっと、そういった方にもこういった会議に参加を促していますが、「まだ、そのようなレベルではない」と言われます。そういった女性個人事業主として頑張っている方の意識が底上げできる仕組みづくりがあると、佐渡は元気になると思います。</p>
D 氏	<p>前回も同じ話をしたかもしれませんが、個人的には、これまでの昭和モデル、平成モデルから脱却するタイミングなのではないかと考えています。もちろん、良いところは継承しつつ、今まで何をやって躓いていたのか分析すると、いたずらに人数ばかり求めてきたところだと思っています。もちろん、その時代のビジネスモデルとしては正解の部分もあったと思いますが、日本の人口、地域の人口が減っている中で受入れには限りがあるため、私個人的には、地域住民の人数×10 倍がその地域の適正な観光客の規模だと考えています。同じ考え方でやっている地域がパリ、沖縄において住民×10 倍が観光客の適正規模で動いています。つまり、観光客の質を良くしていき、地域の産業をアップさせていくという戦略にシフトしている先進地が多いです。佐渡の人口5万人であるため、観光客の適正数は50万人程度という考え方ができます。</p> <p>先月28日に日本推薦というキーワードが出てきました。これは、観光客を入れ</p>

	<p>替えられるチャンスになるのではないかと考えています。きちんと佐渡という島の価値を認めてくれる観光客を増やしていくことによって、消費額がアップできると思っています。そのため、ある程度、観光客を選び、観光客のニーズに合わせた戦略を展開していくことが重要になります。「だっちゃんコイン」は観光地域通貨として使っていますが、狙いは CRM であり、観光客を分析し、動態に合わせた経営を地域全体でやっていくものです。こういった分析を活用して、新しい観光地にしていきたいと思っています。</p>
E氏	<p>佐渡市のホームページは、農業、漁業、観光業というイメージが強いが、佐渡には工業もあります。これは全国、世界に通用するレベルの高い産業を展開しています。島内に就職先がないという保護者の声も多いですが、医療・航空・自動車・半導体は実は佐渡にあります。私たちは、佐渡にある工業についてもっと宣伝したいと思っています。</p> <p>また、先ほど、資料に UI ターン者数の実績報告がありましたが、その方はどういったところでお勤めなのか分析はさせていただけますでしょうか。そういった内容について会議で議論したほうが盛り上がると思います。どこも人材不足となっており、UI ターンで佐渡に来て、就職していただけることは有り難いことです。私たちは数十人しか残らない高校卒業生を競い合っています。そういった UI ターン者の情報や分析があると良いと思います。</p>
F氏	<p>窓口の感覚としては、UI ターンの方は少ないという印象です。特に製造業へ就職したい方はすでに佐渡の企業を知っている方が多く、イメージとしては地元の方が多く印象があります。</p> <p>UI ターンの方がどういったところに就職しているのかは把握できていませんが、やはりある程度、就職先を決めているのだと思います。そして、新しい会社を立ち上げている印象があります。きちんと調べてわけではありませんが、窓口での印象となります。</p> <p>また、東京（青山）に UI センターがあり、学生が地元に戻りたいという話を耳にしないため、学生をどれだけ地域に戻せるかが大きな問題になると思います。</p>
G氏	<p>UI ターン者の中で起業している方は少ないと思います。企業誘致により、働きに来ている人が増えているのは事実であり、先ほどのお話のように、すでに就職先が決まっています。そのほかに、個人事業で働いている方もいると思います。今、私は企業誘致の支援をしていますが、なぜそれをやり始めたかと言うと、失敗している方が多いからです。コロナウイルス感染症の影響や、漁業のように魚が獲れないというのはどうすることもできない無理な場合もありますが、基本的にはしっかりやれば失敗しない実感をもっています。そういった中で、佐渡市とビジネスコンテストを開催し、企業を増やす起爆剤となっている</p>

	<p>と思います。先ほどもお話がありましたが、昭和モデルや平成モデルをやっても仕方ないというお話がありましたが東京にはIT企業がたくさんあり、経営者も勢いで成功している事例を多産多死型モデルと呼んでいます。そういった企業を佐渡に誘致したいとは思ってはいません。むしろ選別しています。昔から言われるストックホルダー主義が増えています。そのまま突き進んでしまうと暴動が起きてしまうため、ストックホルダーからステークホルダー主義に舵を取るべきという考え方に変わってきています。会社の持ち主は誰ものとした場合、会社の持ち主は株主という基本的な考え方が英米法の考え方であると思います。株主主導主義の企業は、会社を大きくし、成功したら地域貢献すれば良いという考えがあるが、それでは面白くありません。現在、成功率No.1の島をテーマに企業誘致をおこなっていますが、確実な経営スタイルで、地域社会も一緒に考えていく企業誘致をしたいと考えています。佐渡の魅力をうまく出していき、佐渡のステークホルダーとは何か考えるべきであると思います。</p>
H氏	<p>総合戦略には、国から出てくるキーワードがあり、それに従い組み立てていくため、地域の独自性が見えづらいと思います。基本目標もどこでも使えるものになっており、佐渡の総合戦略らしい、「面白い」コンセプトが出てくるように考えていく必要があると思いました。例えば、兵庫県ではジェンダーを一番の基本に考えて、戦略を立てています。今まではコウノトリの野生復帰を全面に打ち出していたが、地域に女性が少なくなっており、帰ってくる女性が少ないという課題に対し、帰って来やすい地域を作っていきたいと目標を設定しています。また、静岡県では地域の人が議論する中に子どももステークホルダーとして参加しています。佐渡の総合戦略もここが面白いと思えるプロセス、特徴があると良いと感じました。そういったことで、UIターン者も増え、集落も活性化するのではないのでしょうか。</p>
I氏	<p>計画策定に関わり、一番に感じていることは、佐渡に住む一人ひとりの人がやる気にならないと難しいと感じています。先日、羽茂の柿農家を訪問した際に、放任園の問題や後継者の課題がありました。単純に放任園を買い取り、栽培面積を増やしてはどうかと思ったが、品質が下がるなど管理に手が行き届かなくなるため、そういったことはしないとされました。そういう考え方は重要であると思っています。マインドを変えてまでやるのは良くないという考え方です。佐渡の人に寄り添うことが大事であると思います。</p> <p>もう一点、先日の会議を踏まえ統計資料を分析しました。分析結果から私なりに考えたこととして二つあります。一点目は生活のしやすさ、二点目は稼げる場所があるということです。稼げる場所というのは、観光業のほかに、個人的にはエネルギーも重要であると思っています。例えば、だっちゃコインで観光客を分析していると思いますが、その分析結果が各ホテルに通達されていないこ</p>



	<p>とがあると聞きました。分析した結果を誰でもできる目標に変えることも必要かと思います。例えば観光であれば、「もう1泊してもらうための戦略」をみんなで考え、みんなが集中してわかりやすく、取り組みやすい形にしていくことがKPIなのではないと思います。できる限り、地元密着型で、地元の方の意見を伺った上で分析、数値、データに基づいた計画づくりが必要だと思います。</p>
J氏	<p>皆さまから様々な意見が出ていますが、金融機関として考えていることを話させていただきます。先ほど、稼げる場所という話がありましたが、稼げる場、または働き甲斐のある場、企業が元気な地域等があるかと思います。起業のライフステージには、起業創業から始まり、販路拡大であったり、観光の場合は観光振興、または事業承継であったり、そういったことが地方創生、地域創生のテーマであると思います。当然、その点についても議論を深めていく必要があると思います。</p> <p>また、参加者の方から話がありましたが、様々な対策を起すにあたり、分析や検証などに基づいた計画をたて、計画期間中も有効な対策ができていくのか分析・検証が必要です。</p> <p>その他、商店街に元気がないことが各地域の共通の課題であると思います。何か手立てを考えた場合、アーケードの負担などサポートできる手段はないかと考えています。シャッター街はイメージも悪いため、イメージアップの手段をとることにより、魅力ある地域になると思います。ある自治体の首長より、これからは地域間競争、自治体間競争という発言をしていました。その中で、魅力ある発信し、イメージを向上させることが佐渡でも必要なのではないかと考えています。</p>
K氏	<p>佐渡に18年前に来ましたが、正直、冷たい印象がありました。そのほか、女は黙っていると会議の中で実際言われたこともあります。そういったことが、佐渡にはまだ強く残っていると感じています。しかし、頑張っている女性はたくさんいます。女性が元気な地域は人口が増える、地域が活性化します。転勤やUIターン者で地域を活性化しようとしている女性がたくさんいます。そういった方を全面的に支援する、応援する体制が必要であると思います。</p> <p>また前回、個別の会議でもお話ししましたが、基本方針に子どもの笑顔を取り戻すといったような「子ども」という視点を入れてほしいです。今、私たちが会議している内容は、子どもたちの未来の話です。子どもたちが大人になった時、私たちの年代になった時、佐渡がどのようになっているか、彼らがこの会議に出席した時に何を思うのか考えています。この時に、大人は何をしてくれたのかと聞かれた時に、私たちはどう答えたら良いのか考えます。そう考えた時、子どもたちの意見が必要だと思います。今、子どもたちが幸せに育っていないかもしれない、子どもたちが帰ってきたいと思う島になっているのか考え</p>

	<p>るべきです。もっと子どもの、若者の流出を防げる方法が佐渡にはまだあり、やっていないことがたくさんあると思います。私は子どもという点は大事であると強く思います。</p>
L氏	<p>子どもと関わる仕事をして長いですが、子どもたちが幸せな時代を過ごせたかを考えた場合、そうではないと思っています。複雑な家庭状況などがあるからです。私自身は、自分の子どもと真面目に 365 日遊んでいました。それを押し付けるわけではありませんが、子どもを育てるにはエネルギーがかかります。育ってしまうと結果はものすごく大きいです。</p> <p>佐渡の 100 年という写真集があります。あの写真の子どもの顔を取り戻す必要があると思っています。</p> <p>先日、2 人の年配の方に「今までこれは人生でやってみたいことはありますか？」と質問しました。答えは、「もう年だからない」でした。今、同じ質問を子どもたちにした場合、18 歳はもう年だから、20 歳はもう年だからと言います。夢もないと否定します。しかし、少し違った質問をすると顔つきが変わります。例えば、「リンゴジュースを作って、ニューヨークで売ってみては」と提案しました。現実離れした発想が必要なのだと思います。そう考えた場合、佐渡はビジネスチャンスがたくさんあります。地域を良くするために、佐渡にある資源を活用していく考えがあっても良いと思います。</p>
M氏	<p>事務局と D 氏にお伺いします。前回の会議を受けて、新聞に人口ビジョンについて掲載されましたが、市民から反応や励ましはありましたか。また、佐渡が世界文化遺産の日本推薦を受けた場合、観光はどうなり、ホテル経営は大丈夫なのでしょうか。</p>
松本主任	<p>新聞に掲載された反応はありました。独自で人口推計されている方がおり、訪ねて来られました。</p>
D 氏	<p>世界文化遺産登録をきっかけにした観光客の傾向については、過去に世界遺産になった他地域を分析したことがあります。例えば、富岡や石見銀山など観光地ではなかったところは観光客の伸び率があります。日光のように観光地であった地域は実は観光客が減っており、増えていません。佐渡はどのパターンになるかわかりませんが、日本推薦となった場合は前年比で 15%増えると思います。コロナウイルス感染症が拡大する前は観光客入込数 50 万人程度であったので、15%増えた場合は 70 万人となります。メディアで佐渡が次の世界遺産候補になった宣伝され、ニュースになると旅行業者は商品を造成します。ただそれだけでは、一時的に一見客が増えるだけで、実は地域に入ってくるお金は多くありません。</p> <p>また、ホテルの心配もありますが、団体旅行ではなく、佐渡が持っている資源で個人の観光客にシフトすることで、フル活用できる可能性があります。今後</p>



	<p>は、個人旅行を取り扱っている旅行業者と関係を深くしていきたいと考えています。2年度に採択を受けた場合は、客層も変化し、訪日外国人や個人の観光客が増えると思っています。</p>
N氏	<p>行政の立場として佐渡市を擁護するものではありませんが、計画はどうしても総花的となり、特徴のないものになってしまいます。先ほど、佐渡の色が見えない、他の計画と同じような計画という意見もありました。市長も実験的な島、再生エネルギー、ITの島と打ち出しているため、そういった色を出してみてはいかがでしょうか。「佐渡色」を一つでも打ち出すと良いと思います。</p> <p>もう一点、以前、人口減少対策の政策を担当していました。人口減少の課題として、女性の働く場がないことが課題として見えてきました。なぜ、新潟県に帰ってこないのか分析した際に、働きたい職種がないこともわかりました。それに対する対策を県においては女性の働く場という観点で新しい政策をはじめました。ぜひ、佐渡市でもやっていただきたいと思っています。</p> <p>その他、子どもの居場所については、県では実験的な施策として松ヶ崎で離島留学を行っています。7人から8人新たに転入する成果も出ております。しかし、一番大きな課題として、母子家庭で来られる方が多く、子ども預ける場所がないことです。以前、佐渡市に学童保育ができないか確認したが、子どもが増えたらできますとの回答でした。それは有り得ないことです。これから先、人口が減り、子どもも減っていく中で、子どもが増えたら学童保育を作りますという考え方は違うと感じています。やはり、子どもの預ける場所や居場所などを打ち出していくことが、子育て環境の改善につながると思います</p> <p>次に、佐渡にはたくさん良い会社があります。今、佐渡にいる高校生に伝えるには職業体験等が必要であると計画しています。まず、会社を知ってもらうことが大事だと思います。そういった取組を市と一緒に出来ればと思っています。</p>
座長	<p>皆さま、それぞれの想い、市へ意見ありがとうございました。</p> <p>なかなか、難しいですが、キーワードを基に事務局は整理をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が活躍できる場</li> <li>・昭和モデル、平成モデルからの脱却</li> <li>・UIターン者の分析</li> <li>・学生を地域に戻すための取組</li> <li>・佐渡の魅力発信、イメージアップ</li> <li>・佐渡色、面白さ</li> <li>・取り組みやすい目標設置</li> <li>・子どもの主体性を活かす戦略</li> </ul> <p>女性、子どもというキーワードを計画に反映してもらいたいと思います。</p> <p>続いて、冒頭に事務局から説明のありました、結婚をテーマに意見交換をしたいと思っています。なかなか結婚というとなりにくいとは思いますが、よろしく願います。</p>

	<p>します。</p> <p>では、まずは私から考えを述べさせていただきます。</p> <p>私は、三つの考え方があると思います。一点目は、出会いの場です。職場などでの出会いは発展しやすいものであると思います。二点目は、若者の流出を防ぐことと、地域に帰ってくる流れを作ることです。三点目は、ある程度の年齢になると結婚に結びつかないため、交流の場が必要であると考えています。</p>
B 氏	<p>先ほどの座長の話は合っていると思います。我々の年代の頃も感じましたが、長男・長女が多く独身で残っています。それは、制約があるからです。だから、今の若い子は島から出るのだと思います。</p>
C 氏	<p>数年前ですが、佐渡市で婚活サポーターを募集していた際に、自ら手を挙げてやらせいただきました。2年間の間で1組も成立させることなく、婚活サポーターの制度も無くなりました。その中でもあと一歩というものもありましたが、やはり出会いの場、交流の場を設定しても、お互い知り合いが多く、実際やってみて結婚は難しいと感じました。</p>
D 氏	<p>出会いの場を行政が設定するものではないと思います。もっと実態にあった展開が必要です。例えば、最近、佐渡に来た女子大生と意見交換をしました。SNS 上に知り合いがいっぱいいて、いつかその中で付き合える人がいるからと焦っていないことがわかりました。行政がやるのであれば、仕組みだけ作るほうが良いと思います。</p>
E 氏	<p>結婚しようと思っていない人がたくさんいる中で、結婚をしないかと声をかけても無理を感じます。しかし、このままでは独身が増えてしまいます。工業会の中でも昔のように交流の場を作ろうと考えていますが、本人が結婚しようと思わない限りはどうにもならないことと感じています。先日、市長との懇談会において市役所にも独身がいると言っていました。職種は関係ないのだと思い、島内限定のマッチングアプリを作ってはどうかという話になりました。何か手立てをしなければ佐渡に子どもがいなくなります。もっと佐渡の明るいイメージをプロモーションし、佐渡で子育てしたいと思えるようにしていただきたいです。</p>
F 氏	<p>結婚について行政で話すことは難しいと思います。結婚は個人的なことになってくるため、行政ができることは少ないように思います。</p>
G 氏	<p>佐渡の男性の未婚率は 37%で高い数値です。1月 31 日ビジネスコンテストを開催する中に課題解決型ということでテーマのひとつに結婚が入っています。そのテーマに手を挙げた企業があり、内容としては、お邪魔にならない程度にお節介する民間企業を立ち上げます。まず、出会いの場から婚活事業は当たり前なので、どこでもやっています。そんなことをやっている場合ではなく、そ</p>

	<p>の前段階で出会いの場を作ることも大事ですが、そもそも参加しない問題があります。結婚一步手前をスクール事業化し、イケメン化計画しようというものです。最低限の身だしなみをしよう、女性の誘い方など教えることから始めて、出会いの場、ブライダル事業につなげるものです。結婚式については、金銭面やコロナウイルス感染症の影響もあると思いますが、国内リゾ婚が増えているため、島内リゾ婚に人気ができるのではないかと考えています。</p>
H氏	<p>結婚した方が良い理由は何か、結婚のサポートをしたほうが良い理由は何かを考えています。結婚したいけど、していない人が多いからなのか、それとも子どもを産ませたいからなののでしょうか。結婚する意味は人様々であり、同性のパートナーと一緒にいる人もいますが、その場合、子どもを産ませたい政策からは外れてしまいます。結婚にはいろいろな形があると思います。</p>
I氏	<p>公の機関として、結婚に踏み込むことについて理解が得られないのではないかと考えています。コンプライアンスは90%が良くても、5%が反対すると成り立たなくなります。</p>
J氏	<p>色々な意見があると思いますが、マッチングアプリやイベントなどお節介をしてくれるサービスがある良いと思います。何かしらの動機付けが必要であり、イベントなど地域の特産物を活用し、様々な動機付けに結びつけることが個人的には必要であると思います。</p>
K氏	<p>子育て支援をしていて、小児科の先生に一番言われることは、子育てが楽しいと宣伝しなさいと言われるそうです。大人が子育てが楽しいという姿を見せないと、結婚して子どもが欲しいと思えないからです。「子ども」という点で考えた場合、里親制度や養子縁組など色々な形があります。結婚にも色々な形があるように、子どもを家庭に受入れ、大切に育てるという考えも必要だと思っています。</p>
L氏	<p>若い子は別れたり、付き合ったり忙しいです。スマートフォンに入れ込んでおり、自分に自信が無いように思います。結婚しても離婚する人が多いのではないのでしょうか。</p>
M氏	<p>結婚というのは恋愛と出会いがあります。最近は結婚するのもしないのも自由、人権のことを言われます。しかし、将来の不安もあると思います。佐渡はスポーツイベントがありますが、音楽フェスティバルはないため、そういったものも交流の場、出会いの場として有効であると思います。</p>
N氏	<p>先ほどより、行政が結婚に関わるのはどうかという意見がありますが、県の結婚支援事業を立ち上げたひとりです。個人の問題に行政が関わるることについて議論した上で、結婚から子育て環境の整備の前から必要であるということで事業を立ち上げました。日本では、結婚して子供を産むことが大半なので、まずは</p>

	<p>結婚を支援しないと子どもは増えないです。県で出会いサポート事業を立上げ、佐渡市が第1号で手を挙げました。難しい問題ではあると思いますが、やるとしたら、女性の多い職場と男性の多い職場をマッチングすると結婚の可能性が高くなると思います。しかし、出会うまでを行政が支援するが、男性が非常に奥手で積極性に欠けるため、そういう方を後押しするお節介な人が必要であると担当者として思っていました。行政が仕組みをつくり、運営は民間団体など役割分担が必要であると思います。</p>
座長	<p>ある程度、データを取り、こういった形で結びついたのかデータ分析も必要であります。</p>
D氏	<p>参考になるかわかりませんが、最近知り合った事業所の方で、巢鴨にシェアオフィスとシェアハウスを併設させ運営している方がいます。すごく人気があり、入居者は面接があり大家に気に入らないと入れないものです。そこで知り合い、一緒に暮らすなかで、空いた時間にみんなで子どもを育てる仕組みがあり、入居者同士で家族が出来上がっていました。そういった事例の話を知ることや、みんなで勉強することも良いのではないかと思います。</p>
座長	<p>最後に次第5. について事務局、説明をお願いします。</p>
松本主任	<p>地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に位置付けられた事業に対し、内閣府から交付金がいただけるものです。令和2年度につきましては、4本事業がありそれぞれの事業報告が資料No.5になります。</p> <p>地方創生推進交付金制度要綱に基づき、地方公共団体は、中間評価又は事業評価の実施に当たっては、学識経験者等の第三者の意見を求め、評価の透明性、客観性及び公平性を確保するよう努めるとともに、必要に応じ認定地域再生計画の見直しを行うこととなっています。</p> <p>つきましては、令和2年度事業をさど未来創造・戦略推進会議に報告させていただき、事業の評価をお願いしたいと思います。本日、意見書を配布しております。別紙内容に係る評価について記載させていただき、期限までに提出をお願いします。</p>
座長	<p>それでは、予定されていた議題は以上です。</p> <p>そのほか、何かご意見等がありますでしょうか。</p> <p>それでは、本日の推進会議を終了したいと思います。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>